

令和6年度「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」地域課題

地域課題 1	熊 本 県
課題タイトル	熊本県内への移住定住に関する取組について
課題の概要 (背景や理由等)	<p>総務省が公表した人口移動報告(令和4年)によれば、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和により、社会経済活動が活発化し、再び東京一極集中の傾向が強まっている。</p> <p>本県の状況を見ると、令和4年は、他都道府県間で377人の転出超過となっており、超過幅は前年と比較して縮小しているものの、地方移住の関心の高まりに合わせ、特に若年層をターゲットに、熊本への人の流れを加速させ、県内で定住する人を増加させる必要がある。(県内への流入増と、県外への流出減を図る)</p> <p>そこで様々なデータを分析し、必要に応じて、フィールドワークやインタビューを実施し、若者だから気づく独自の政策を検討し提案していただきたい。</p>
備考	<p>(1)熊本県移住支援事業 https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/21/50449.html</p> <p>(2)熊本県移住定住ポータルサイト https://www.kumamoto-life.jp/</p> <p>(3)ラブくまプロジェクト(関係人口創出) https://lovekumapi.jp/</p> <p>(4)熊本県空き家バンクプラットフォーム https://kumamoto-akiya360.jp/</p> <p>(5)くまもと UIJ ターン就職支援サイト https://kuma-turn.jp/</p> <p>(6)くまラバ!(熊本県出身者向け公式 LINE)</p> 

地域課題 2	熊 本 市
課題タイトル	熊本市における人口減少対策に資する取組について
課題の概要 (背景や理由等)	<p>全国的な傾向と同様、本市においても人口減少が進行しており、これに伴う人口構造の変化による様々な経済的・社会的影響が想定されています。このため、人口減少への対応を本市における最重要課題として位置付け、多方面から様々な対策を講じていくこととしています。</p> <p>そこで、本市の将来を担う学生の皆様には、以下の<本市がめざすまちの姿>の実現に向け、</p> <p>①人口減少を抑制するための政策 ②人口減少に適応するための政策</p> <p>について提言いただきたい。</p> <p><本市がめざすまちの姿></p> <p>豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。</p> <p>そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。</p> <p>そのような、市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、「上質な生活都市」を、私たちは目指します。</p>
備考	<p>アイデアを考える際の参考となる資料</p> <p>・熊本市第8次総合計画</p> <p>https://www.city.kumamoto.jp/hpKij/pub/detail.aspx?c_id=5&id=49036&class_set_id=2&class_id=3862</p>

備考	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市人口ビジョン https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=54557 ・データで考える熊本市の都市政策 2023 https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=54230
地域課題 3	自由設定 : 自ら地域課題を設定して取り組む 《New!!》
<p>今回は熊本県と熊本市から提示される地域課題に加えて、普段「政策」という言葉に馴染みのない学生の皆さんにも参加を検討してもらうため、皆さん自身が地域課題を設定する「自由設定」という選択肢を設けました。県内には様々な地域課題があります。例えば、環境問題、自然災害、少子高齢化、交通渋滞と公共交通機関の衰退、第一次産業の後継者不足、文化財の保存、伝統行事の衰退などなど、皆さんの身の回りに数多く存在します。</p> <p>そこで、学校の授業を通して、また何気ない日常生活の中で気づいた地域の課題を、ご自身の専門分野の知識やボランティア活動等を通して得た経験などを活かして、解決に導くアイデアを「政策」として提案してください。「政策」には、いろいろな定義がありますが、ここでは、「いま、そこにある問題を具体的にどのような手段で解決していくか」ということだと思えます。決して他人事でも、大それたことでもありません。「目からウロコ」的な「政策アイデア」を期待しています。</p>	
備考	<p>自治体やコンソーシアムが主催する政策アイデアコンテストのサイトも参考にしてみてください。 (以下は一例です)</p> <p>①令和5年度かごしまを元気にする学生政策アイデアコンテスト(鹿児島県) https://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihouseisei/resas/r4ideacontest.html</p> <p>②第12回学生政策提案フォーラム in さいたま (さいたま市) https://www.city.saitama.lg.jp/006/007/002/012/002/003/p100607.html</p> <p>③2023年地域課題研究ゼミナール支援事業・成果報告書(大学コンソーシアム石川) https://www.ucon-i.jp/newsite/jigyou/chiikikadai/index.html</p>